

直江津区における「地域活性化の方向性」

《直江津区の地域活性化に向けて》

人とひとを、人とまちをつなぎ、住み働く人が輝き、
訪れる人を魅了するまち「なおえつ」

○構成要素

・ 支え合い、生き生きと暮らせるまち・直江津
・ 安心安全、快適で開かれたまち・直江津
・ 誰もが活躍できるまち・直江津
・ 魅力と活力があふれるまち・直江津
・ 次代を担うひとを育むまち・直江津

直江津区「地域活性化の方向性」

キャッチフレーズ

2023.07.19正副会長会議 検討資料

構成要素を7次総の5つの基本目標とし、直江津区の課題や取り組むべき事業を整理する。

人とひと、人とまちをつなぎ、住み働く人が
輝き、訪れる人を魅了するまち「なおえつ」

	構成要素	課題 キーワード	取組の整理
1	支え合い生き生きと暮らせるまち・直江津	◆ 労災病院閉院問題 ◆生涯教育、公民館活動 ◆市民団体主催の事業	■この問題を地域協議会がどの様にコミット出来るか？ ■直江津区の自主的審議案件として議論するか？ ■この課題を自主的審議で十分議論した事は無い。 ■今までの支援事業の延長から、どのように生き生き暮らせるまち直江津を作るか？ □各種講座や地域の茶の間事業への支援
2	安心・安全快適で開かれたまち・直江津	◆まちなか居住推進 ◆町内会と防災組織との連携 ◆環境先進タウン直江津の実現 ◆直江津パークマネジメント	■木造密集危険度5エリアの住環境整備一都市整備課との協議 ■避難所運営ゲーム、避難所体験、AED講習会 ■防災ポスター、AEDマップの作成 ■ハザードマップの活用～マイタイムライン作成勉強会 ■海岸ごみ清掃、不法投棄対策及び天王川クリーン活動 ■海岸ラインの整備、充実（EX.小型風力発電街灯でエコ×リゾート景観づくり、ベンチ設置、花壇の整備、草刈等） ■雁木通りの整備、街中回遊整備（水族館ロード等）、景観づくり ■五智公園を市民いこいの森に □まちなか公園整備
3	誰もが活躍できるまち・直江津	◆交流の場づくり ◆地域自治の仕組づくり ◆関係人口の糸口は？	■地域自治での役割とインセンティブの検討 ■団体交流会開催支援 ■町内会、さまざまな団体での自地の有り方検討と後継者づくり ■若者にある程度任せる、共助のまち直江津をどう作るか？ ■市民活動団体の存続支援と連携 ■直江津のまちを考える活動 ■市民活動団体交流会開催とネットワーク化 ■三八朝市の活性化、直江津と中山間地との支え合い ■来訪者との交流拡大、関係人口の構築■各種イベント交流の促進
4	魅力と活力があふれるまち・直江津	◆ 楽しめるまち・直江津をどう作るか ◆直江津DMO組織を	■海周辺、海岸通りの環境整備やリゾート感を創る事業 ■海浜公園の更なる活用（若者向けイベント会場） ■うみがたりへの来客を次の直江津観光へ（レンタサイクル、観光モデルコース、案内板、まちなか観光まちあるき等） ■屋台会館を観光インフラ+歴史文化紹介+物販飲食施設へ出来ないか ■祇園祭を観光の視点で検討（可能な町内に屋台を戻して回遊スポットとする案など） ■ライオン像のある館と三八朝市の観光拠点化 ■鉄道博物館をどう作る？→D51レールパークの強化 ■福島県資料の佐渡汽船ターミナル展望室への移転検討 ■五智エリアの歴史観光の強化 ■三ノ輪台をフェスキャンプのメッカに！ ■直江津ならではのきめ細かな情報発信と戦略が必要 ■観光コンベンション協会との連携が出来るか？ ・うみまちアート・直江津区を発信するパンフ等の作成 ・直江津を発信する館の設置（屋台会館でも良い） ・直江津写真コンテスト
5	次代を担うひとを育むまち・直江津	◆地域の魅力を学ぶ場づくり ◆部活動の地域支援 ◆歴史・文化的資産の保存と活用 ◆祇園祭の維持、継承、発展	■総合的学習の支援 ■学校運営協議会や青少年育成会議との連携 ■学校教育の充実と職員の負担軽減 ■職場体験の拡充 ■今のところ議論が進んでいない。 ■国府小は部活（課外活動を止めた） ■福島県の資料整備 ■歴史人物講座、歴史講演会等 ■歴史的建造物の維持保存活動 → 構成要素2へ ■屋台会館の有効活用（情報発信基地構想など） ■地域コミュニティ形成の核となる「祭り」による次世代育成